

News

No.138
2017/05/01

繋がりに感謝



■サレジオ高専News 校長メッセージ

■育英学院同窓会報
サレジオ同窓日本連合 東アジア・オセアニア地域代表者会議
東ティモールの現況について
東ティモール工業学校生来日と本会近松副会長の勤務先（日本信号久喜事業所）見学
卒業式と謝恩会（2017.3.14 専攻科15期・本科50期）
SHCD2016開催／関東信越地区同窓会交流会報告
高専28期情報工学科クラス会
育英グラフィックの会2016開催／蛇の「五里主先生」逝去報告
中学・工高16期会「古希の集い」報告
桜募金の経過報告／育英ファミリーの集い報告
ソーラーフレイムチャレンジ／MTO_OB会（吹奏楽部OB有志の会）
高専1期電気工学科有志の会「駒田会」
予告記事（2017.11.19ワンダーフォーゲル部創部50周年記念OBOG会
恩師訃報

■父母会だより
第50期卒業生の保護者の声
学生活動等支援補助金受賞団体のその後
平成28年度 第50期卒業対策パーティー報告
リース手作り教室報告／育英祭報告
キャリアデー報告／バスハイク報告
第17回おやじの会報告／マラソン大会報告
新年の集い報告／編集後記

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel.042-775-3020 Fax.042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人…校長:小島 知博
編集長…教員:山館 順
編集…広報:星野 正登



- 皆様との繋がりに感謝します -

ネットワークを通じたデジタルコミュニケーションが発達する中、本誌のようなアナログの媒体を通じて皆さまから様々なご支援を頂くことができましたことを感謝いたします。今回はその一例をご紹介します。

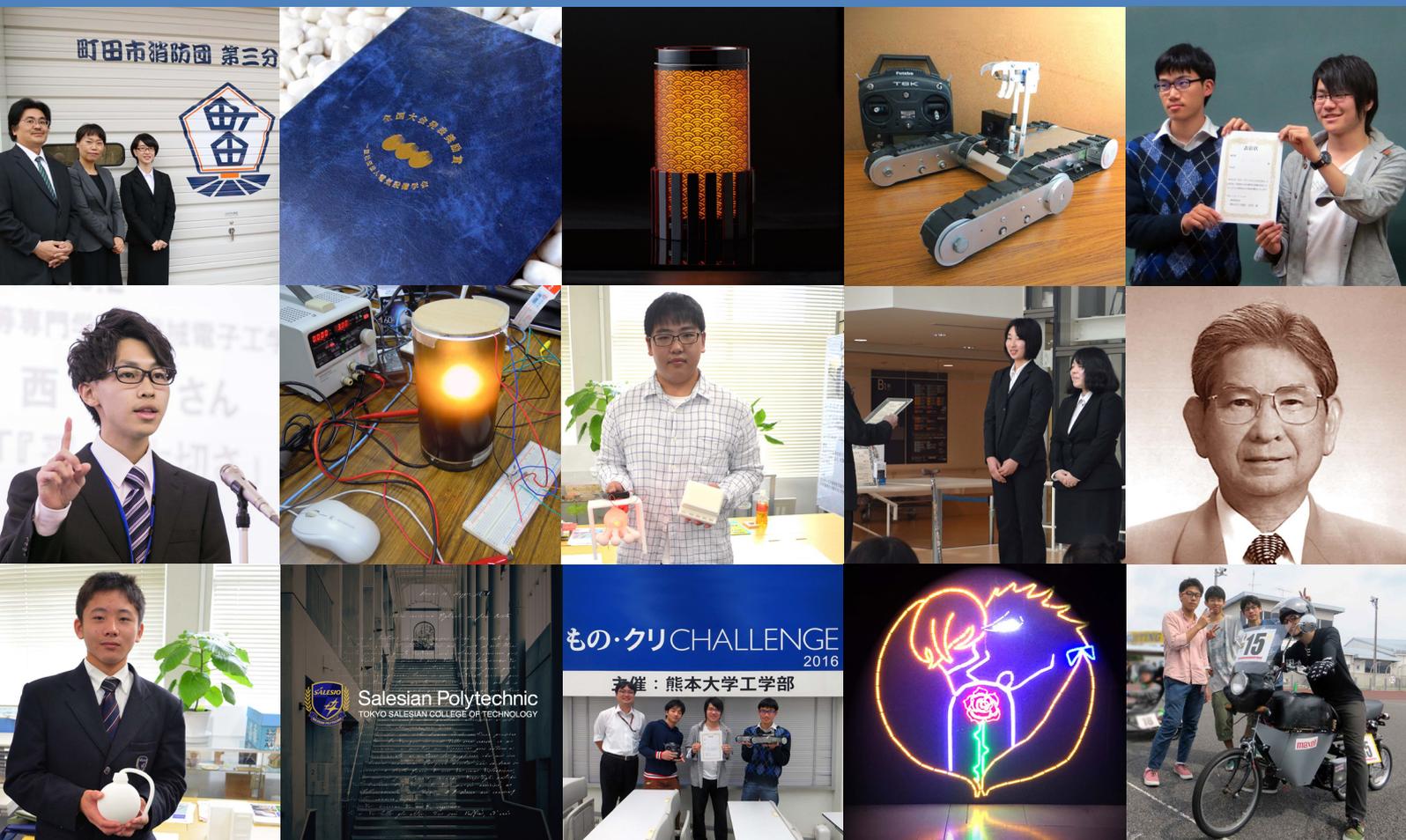
News136で紹介させていただきましたデザイン学科佐藤さんの活躍を見た卒業生の方からは、インターンシップや産学連携の可能性についてご提案をいただくことができました。在校生が卒業生の皆さまと連携し、新たな価値を社会に生み出す可能性を強く感じます。また同窓生粕谷 進さまからは「瑞宝章中級章受勲しました」という素晴らしいお知らせをいただきました。卒業生の皆さまの輝かしい活躍は、本校で学ぶ在校生たちにとって素晴らしい目標になると考えます。そして父母の皆さまからは学生たちの学びを支援するために貴重な図書を購入していただきました。他にも多くの方々から様々なご支援をいただいております、本誌やWebサイトなどを通じて人と人が繋がることのありがたさを実感しています。

教育活動は教職員だけで実現しません。教育とその環境を考えるとまず保護者との連携が必要です。教職員と保護者とが連絡を取り合うことで物理的になかなか会うことができなくても学生の状況を共有できます。本校は卒業と同時に7割の学生が就職します。その意味では学生がインターンシップを行うことをはじめ、連携事業に参加することが大きな自信を得ることに繋がっています。他にサレジオ高専地域連携協議会の方々を通じて地域の活動に参加させていただくことも地域に貢献する体験となっています。このように様々な方々との具体的な関わりを通して本校の実践的な教育は実現しています。また学生が支えてくださる皆さまのあたたかいご支援を感じて応えようとするのも大切です。信頼関係を築くことがすべての活動の土台にあることを実感します。

皆さまからの様々なご支援に感謝申し上げます。学生たちの成長のために今後ともお力をお貸しいただければ幸いです。



サレジオ工業高等専門学校
 学校長 小島 知博



父母会の皆様から寄付を頂き
 学生のために多くの専門図書
 を購入する事が出来ました。
 この場をお借りして父母会の皆様に
 心より感謝申し上げます。

- ・ウエルフェアデザインコンテスト最優秀賞
- ・第8回関東甲信越高校生溶接コンクール 優良賞
- ・テニス部 2016関東連春季大会 ベスト4
- ・平成28年度デザインパテントコンテスト 優秀賞
- ・第11回エネルギー教育賞 優秀賞
- ・粕谷進氏 瑞宝章中級章 受勲
- ・電気工学科と伝統工芸職人の連携が製品化
- ・町田市防災安全課公式シャッターデザイン採用
- ・もの・クリCHALLENGE 2016 優秀賞
- ・第6回城西大学英语スピーチコンテスト受賞
- ・第10回全国高専プレコン プレゼンテーション部門第2位
- ・3Dプリンティングデザインコンペ最優秀賞
- ・デザコン2016 in Kochi 優秀賞
- ・第34回電気設備学会全国大会発表奨励賞
- ・機械電子工学科 米盛准教授 特許取得
- ・関東信越地区高専英語弁論大会レシテーション部門優勝
- ・Robot Competition Series “BRAVE” ファイティング賞
- ・ソーラーバイクレース2016 in 浜松スプリントレース2連覇
- ・情報工学科の川村准教授 画像電子学会 優秀論文賞
- ・機械電子工学科 米盛准教授 JSEE AWARD 最年少受賞

…他多数

公式Webサイト (<http://www.salesio-sp.ac.jp/>) も是非ご覧下さい



育英学院同窓会報

発行人:育英学院同窓会 会長 林 紹溢 / 事務局:町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ高専内



— 特集 —

サレジオ同窓会東アジア・オセアニア東チモール大会特集

**サレジオ同窓日本連合
東アジア・オセアニア地域代表者会
本会林会長・河村副会長が日本連合代表団として参加
2016.10.4-8 同窓会長 林紹溢**

標題の会合（137号ではアジア・オーストラリア大会と記載したが正式には標記の名称でEAOと略す）に本会の林会長、河村副会長が日本連合代表団の一員として参加した。他にコーディネータとしてサレジオ高専の西野先生、卒業生一名が参加した。以下日本連合の報告書を抜粋して紹介する。



大会は2016/10/4-8の期間で東ティモール首都のデリのDon Bosco Comoroを会場として11カ国、260人の参加者を得て開催、日本からは初めてサレジオ同窓会日本連合（既報）という日本の同窓会連合を代表して7名を送った。

過去、ソウル、バンコック、コルカタなどの大会にも参加経験があるが公式代表団ではなかった。今回は育英学院同窓会では東ティモールとの長い支援活動の背景もあって林会長、河村副会長、西野准教授（高専・卒生）、鈴木さん（卒生）の4名が参加した。現地では辻村さん（既報・卒生）にアテンドしていただいた。代表団一行の持参している旗は日本のサレジオ家族（DonBoscoJapan：共通のシンボル）を示す。

右上に続く

左下からの続き



現地に入って1日目は大会登録、開会ミサで始まった。（上の写真は各国代表の大会開催ミサで）開会挨拶では同国シルバ司教（サレジオ会高位聖職者）が「ドン・ボスコの名の下に一つの家族になろう」と呼びかけ、歓迎式典、歓迎パーティと続いた。



学校の体育館で食事はケータリング



世界連合アジア地域担当グプタ副会長



東ティモール会長ゴンサルヴェス氏と



「上を向いて歩こう」の演奏に答えて歌う

代表団は着ている揃いのTシャツを東ティモール同窓会長はじめ大会要職の皆さんにプレゼントした。

大会2日目はサレジオ会総長のビデオメッセージに始まり各国代表者の挨拶、世界連合の6カ年計画などが発表された。ちなみに世界連合は1908年創設、現在100カ国以上、10万名の登録会員、100万人以上のサレジオ同窓生を擁している。

前ページからの続き



←
世界連合の
6年計画を
発表する世
界連合会長
のホルトさん



←
日本からは
日本連合の
立石事務局
長が発表

特に「環境危機と気候変動」の講演テーマには河村副会長が関心をもって聴講した。

3日目には各国同窓会の現況について相互に発表があり、日本からは立石事務局長が日本連合の結成、公式代表団の派遣、この後の日本の役割や抱負を述べた。

他に12管区を擁するインド、韓国、インドネシア、フィリピン、タイ、マカオ、オーストラリア、東ティモールの各国代表が報告した。



←
大会宣言に
林同窓会長
が署名



←
各国代表に
よる閉幕記
念撮影

4日目には各国参加者交流のフェアウェルパーティが開催され、別れを惜しみつつ、次回大会(2020)での再会を期して閉会となった。さて次期大会の開催国は日本ということになった。

この報告書の詳細は以下の同窓会URLにアップしているのではありません。是非ご覧ください。

<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/doso/index.html>

東アジア・オセアニア地域大会に参加して 東ティモールの現況について 2016.10.4-8 副会長 河村英和

大会に参加して特に私の専門である電気等エネルギー関係の東ティモールにおける現況と抱えている問題点などを整理して報告します。

主題 1) アジアや東ティモールに於ける環境問題について

大会二日目午後から、デカーティンス教授による環境危機と気候変動の講演が有りました。私のこの大会出席の主目的は、これを聞くためでしたが、講演内容の項目としては以下の通りで有り、アジアや東ティモールに於けるパリ協定に則った環境問題を提起したもので、英語と現地のテトゥン語によりプロジェクターにて発表されました。

講演項目

- ① 地球温暖化のシナリオ等
- ② 温暖化の産物や不作為と気候変動の関係
- ③ パリ協定の成立およびその重要点
- ④ 国家的援助と残された時間
- ⑤ 気候変動結果が途上国へ拡大
- ⑥ ストップ地球温暖化の教育・キャンペーン
- ⑦ カーボンクレジット等の自発的促進

内容的には[発展途上国に於いても自分達で地球温暖化防止の観点から環境問題を考えよう]と言うものでした。



←
デカーティンス
教授
(環境学)
の講演

主題 2) 東ティモールのこれから

東ティモールでは、2010年時点で電化率は全国平均36.6%と低く地方部の電力供給は夜間のみ、山間部では大部分が無電化で首都デシリでも停電が頻発する状況にある。ほぼ全ての主要電源をディーゼル発電に頼っており、家庭用発電機(ディーゼル、ガソリン)及び太陽光発電設備の需要は高く、首都でも販売店が数件有り、日本もODAにて豊田通商と若築建設のJVで太陽光発電システム(システム一式・約200KW/h)の供与及び運転・維持管理のための技術支援を、次の2ヶ所に実施した。(設備稼働は2013~2014年)

1. 東ティモール国立大学工学部ヘラキャンパス
2. アタウロ島

次ページに続く

前ページからの続き

しかし2011年に成ると、2012年の国会選挙に備え、最大与党である CNRT党が選挙対策として経済開発政策のマニフェストに全土の電気網の整備を掲げ、再選されたCNRT党率いる連立内閣は2013年度までには東ティモール全土（ほぼ全ての在住集落）に電気を普及させた。これに使用されたのは、中国が支援した重油焚き火力発電システムで、二ヶ所の発電所から全国に高電圧にて送電している。これは選挙を意識した政策であった為、2014年頃まで首都デリを除く全土にて電気代の徴収はされなかった。

この電気の普及により、家庭用発電機や太陽光発電設備を扱うお店も姿を消し、この国に於いて太陽光発電はかなりマイノリティー化した存在に成っている。

これ以来、東ティモールでの環境問題への取り組みはほとんど手つかずで、発電に限らず自動車の煤煙規制法も未制定である。道路・水道のインフラ整備や公共設備建設が中心で、東ティモールには環境省は有るが、環境に対して政府の指針や法律が未制定で、外国ドナーや国際機関の意見に頼らざるを得ず、[環境問題]そのものが輸入外来語として扱われているようだ。以上より、色々な法律を整えたと共に、環境維持を考慮した発展に寄与できる人材育成が急務で有る事を強く感じた次第です。

参考資料：JICA 太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画
取材協力者：JICA専門家・育英高専OG 辻村直様



東ティモール大学工学部太陽光の研究室



ハラ火力発電所全景

東ティモール工業学校生来日と本会近松副会長の勤務先 (日本信号久喜事業所) 見学 2016.11.17 副会長 近松秀明

去る11月17日 サレジオ高専国際交流センター西野先生の引率により東ティモール工業学校の生徒と同校修道院長、校長他一行が私の勤務先である日本信号久喜事業所を訪問され、工場見学と展示室をご覧いただきました。



日本信号（株）久喜事業所を訪問

また同月23日には本交流に関するシンポジウムがあり、私と国際事業部の担当課長の2名が参加しました。17日来社当日の集合写真を上に示します。（左から3番目の脱帽しているのが私です）当日は、東ティモールの国旗を掲揚させていただいたので、皆様感激してこのアングルになりました。あいにく無風で旗が見えないのが残念ですが、一番手前のポールに東ティモールの国旗が掲揚してありました。真ん中は日本国の国旗で一番奥が社旗です。通常は、QC旗と、国旗、社旗となっていて、来客時に当該国の国旗をQC旗の場所に掲揚することになっています。後日引率コーディネータからのコメントによると他の一般対象の工場見学より遙かに充実した見学内容で来日した工業学校生も非常に感銘していたとの報告を受けた他、インフラ整備の段階にある同国の事情から、特に道路交通信号システムに関心を示しているとのことでした。

日本信号株式会社技術開発本部
統括技術部インフラ技術部
専任担当 近松秀明報告



来訪した代表者から同国の友好の印である
タイスと呼ばれるストールを頂きました。

卒業式と謝恩会
2017.3.14 専攻科15期・本科50期



**SHCD2016開催
2016.10.29 同窓会事務局**

去る10月29日(土)、育英祭の初日恒例の卒業生の集い「SHCD2016」が高専学生食堂で開催されました。特に高専11期～15期、44期、新卒49期生を招待し、当日参加の卒業生も含めて工高から高専まで総勢120名余が参集し、挨拶のあと盛大に交歓会が行われ、新卒の皆さんは卒業して半年余の互いの近況を伝え合いました。工高11期のOBも来校され、新校舎の威容にびっくりされていました。恒例のBINGOも最後は128GBのMicroSDがあたりました。来年は定期総会とともに高専16-20期、45期、新卒50期を招待する予定です。

■ 来校者内訳

- 工高11-16期 6名
- 高専01-10期 8名
- 高専11-15期 13名
- 高専22-28期 2名
- 高専31-40期 3名
- 高専44期 4名
- 高専49期 59名
- 期不詳 16名
- 教職員 10名超

総勢 120名超

2016.10.29

SHCD2016招待者各位、
育英祭来校卒業生各位、

**2016年10月29日開催の
SHCD2016 式次第**
Salesio Home Coming Day 2016.

15:30 SHCD2016受付開始。
16:00 同窓 司会挨拶 司会 近松副会長 (S07EE) ..
16:03 歓迎挨拶 名誉会長 小島 知博校長。
16:08 歓迎挨拶と報告 同窓会長 林 輝彦 (S06CB) ..
サレジオ同窓会世界連合アジア・オセアニア地域。
代表者会議 (兼チヤール) に日本代表團として参加 (映像あり) ..
16:13 卒業生代表 高専11~16期 小澤 環(S11EB) ..
16:18 卒業生代表 高専44期 山川 雄大 (S44EE53) ..
16:23 卒業生代表 高専49期 佐々木 元貴 (S49ME) ..
16:28 乾杯音頭 招待代表 加藤寿洋生 (H12PA1) ..
16:30 閉会。
17:16 恒例のBINGO開始 63人。
17:30 中継の挨拶 同窓会副会長 河村 英希 (S01EP) ..
卒業生幹事会が クラス会等案内 (49期招待) ..
18:00 お開き。

企画 BINGO用品 (microSD) BINGO祝詞。
4GB×32、8GB×16 シングル5 (1列) ..
16GB×8、32GB×4 ダブル5 (2列) ..
64GB×2 128GB×1 フル (全列) ..

BINGOはシングル5 (縦横列の5並べ) からスタートし次にダブル5 (5並べが2個) ..
最後にフル (全列) へ進みます。同時人数が超過したときはジャンケンで負けた方に4GB
DVD-RWを抽選します。 ..
住所変更・年会費 受付で申し付けます!! ..



画像は同窓会HPに掲載しています
トップページの「同期会・イベント等最新記事 (2015-16) 」
を参照してください
<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/doso/index.html>

この企画も高専44期生を迎えて開催したCHD44から数えて6年目となり毎年新卒生が参加、また町田を初めて訪れる卒業生も増えて盛会となった。またこの年の育英祭2016は2日間で4000名を超える来校者があり、高専が地域にも定着してきたことを示している。

**関東信越地区高専同窓会交流会報告
2016.10.1 副会長 川島幸子**

去る10月1日-2日の両日、関東信越地区NHKロボコン地方大会開催と合わせて、全国の高専で同窓会の交流会が実施されている中で、関東信越地区の同窓会同士で交流会が必要なのではないかと、先代の茨城高専の同窓会会長が考えていたところ、このたびそれぞれの同窓会の問題点やそのほか意見交換ができる場を作りたいということで、企画、実施された。それぞれ50周年のイベントが控えていたりすることもあり、他の高専ではどうしているかなどの情報交換などがメインでした。サレジオ高専は私立として初参加でした。

なお参加校は茨城、長野、都立品川、小山、サレジオの5校でした。(写真は各高専同窓会代表者)



**高専28期情報工学科クラス会
情報1期初めて集う
2016.10.17 幹事 清水誠**

情報工学科一期生、初めてのクラス会を開催しました。それぞれの仲の良い同士で会うことは度々あったようですが、卒業以来21年会っていなかったクラスメイトも沢山いました。在学時の恩師である木戸・小出・米山・野島先生方にもお越し頂くことができました。もっと早く開催して、故人となった岩岡先生もお呼びできれば良かったのにとつくづく思います。

幹事が連絡がつく限りのクラスメイトに連絡しましたが、当日集まることができたのは20数名。卒業して20年も経つと、皆さん様々な事情、そもそも海外に住んでいるクラスメイトも居たりと、多くの方々に参加して頂くのは難しいものだなと実感しました。それでも情報らしくSNSを駆使して25名まで連絡がとれました。3次会まで盛り上がり、次回は東京オリンピックの2020年を目標に再会を期しました。



育英グラフィックの会2016開催 2016.10.15 会長 杉原文治

去る10月15日に育英グラフィックの会が無事終了しました。今回はセミナーとOB経営者による座談会でした。40名ほどが集まり印刷、経営、人材育成などについて意見交換を行い内容の濃いセミナーになりました。特にOB経営者による将来についての意見などは大変参考になりました。(会長 杉原)



育英グラフィックの会2016参加者



サカタックス(株)でのセミナー

蛇の「五里主先生」逝去(享年85歳) 2017.2.5 報告 木戸能史

去る1/31育英中学・高専で英語を主に教えられ、中学ではDSAを主宰、育英を退職後は日本爬虫類・両棲類学会会長を歴任されたゴリス先生が逝去され、2/5-6宮前平安会館で葬儀が行われました。



中学・工高16期会「古希の集い」 2016.10.21 同期会事務局(木戸)

昨年秋10/21港区芝パークホテル(椎名氏仲介)において、育英中学、工高16期の同期会主催の「古希の集い」が開催された。「還暦の会」から10年を経て、可能な限り連絡の取れる仲間に出席をお願いしたがそれぞれに健康や家族、仕事など集えなかったものもいた。それでも在籍延べ278名(中工重複)のうち住所有効が129名で出席は以下の通り40名であった。卒業以来会ったという仲間もいて互いに「変わった、変わらない」など再会を懐かしんだ。

近況報告

小田切猛、田原宏史(以上中学)、花崎明平、本橋賢一、仲間康夫、奥沢悠、佐々正久、鈴木勝弘、高橋国夫(以上木工)、萩原勇、永野興彦、青柳幸久、椎名行弥、竹淵三郎、土田賢三(以上電気A)、青木信夫、浅沼陽一、福田旨利、萩原祥夫、浜正也、齋藤(石井)新、梶野政隆、桂嶋博明、木戸能史、齊藤幸雄、高橋正一、武田昌一、滝沢秀夫、塚本徹也(以上電気B)、栄田安宏、金子功、小松政次、前田憲男、鞠子栄一、三上喜久雄、立川隆三、田口和男(以上印刷A)、新井幸雄、四宮勉、高橋房幸(以上印刷B)



桜募金の経過報告 2017.3 育英ファミリー会

かねてから育英ファミリー会主催の「育英ファミリーの集い」でその会場のシンボルとなっていた「桜の樹(高専8期の卒業記念樹)」が老齢化と桜を枯らす樹木病で枯死状態となった。

会ではその2代目を植樹する事でさらにこの会が続けられよう期待し、会を代表する但馬会長がサレジオ修道会管区長やサレジオ高専校長とも相談し、その支援のもと、卒業生にも呼びかけ、植え替え費用を捻出することとなった。樹下には記念石碑を設置し、サレジオ修道会、サレジオ高専、育英学院同窓会、育英ファミリー会、卒業生有志らによって植え替えたことを篆刻した。関係者の協力支援を深く感謝する。



育英ファミリーの集い報告 2017.4.1 育英ファミリー会幹事会

去る4月1日杉並サイテックにおいて育英ファミリー会の主催による「育英ファミリーの集い」が開催された。正午より3時間余り、参加した旧教職員をはじめOB父母の皆さんや、中学、工校、高専の卒業生が参加し大変盛会であった。育英ファミリーの集いも11回を迎え、生憎午前中雨模様であったが昨年を上回る80名以上もの杉並を慕う仲間が参集した。



高専1期生の仲間たち



出席した同窓会役員他



山野内管区長とともに校歌斉唱

右上に続く

左下からの続き



先輩の作る焼きそばやオードブルその他、ビール、ワイン、お酒に焼酎（差し入れも）、飲み且つ語り、賞品多数のビンゴなど大いに楽しむとともに、本会の名誉会長山野内サレジオ会管区長による前述「二代目桜」の祝福式が行われ、意義深い集いとなった。しかし、会長はじめ工高OBの幹事はすでに70代となり、高専世代に「育英ファミリー会」の将来を託したい旨同窓会に相談があった。（会長記）

ソーラープレーンチャレンジ 電気工学科渡邊研究室JVオリンポス 2017.1.19 渡邊聡教授

ソーラープレーンプロジェクトは鳥人間コンテストの機体にソーラーカーの技術を載せて日本初のソーラープレーン有人飛行に成功しました。機体は飛行機設計の技術を持つ(有)オリンポスの援助を受け、本校のソーラーカー技術で培ったリチウムイオン電池などの電気システムを搭載し、2013年に日本初の有人飛行に成功しました。パイロットは在学中5年間プロジェクトに携わった卒業生の横山慎二氏です。このソーラープレーンプロジェクトの「日本初の有人ソーラープレーン飛行までの軌跡と学生達の活動」は今までもNHKで取り上げられ、今後は飛行の安定性や各特性測定を行う予定です。東京新聞の記事及び写真をご覧ください。また、育英時代の鳥人間プロジェクトで活躍した酒井敬史氏は卒業後本田技術研究所に就職、昨年9月に米国のユタ州で開催された「ボンネビル・スピードウィーク」にHONDAプロジェクトメンバーの車体設計のリーダーとして参戦し世界最高記録を樹立しました。

(下記URL)

<http://www.honda.co.jp/tech-story/engineer/engineer-talk/BonnevilleSpeedWeek2016/index.html>



MTO_OB会（吹奏楽部OB有志の会）
2016.11.17 幹事 林紹滄

さる11/17（木）Mad Tadpole OrchOB会をメンバーでもある下井草駅南口の西村好博（S09EE13）の店「パンとぶどう酒」で開きました。店内に育英高専名と校歌のペナントが飾ってあります。卒業生の皆さんも下井草においでの際、あるいは少人数の集まりにはぜひお使いください。料理と自家焼きパンが最高！
<https://www.facebook.com/budoushu/?pnref=lhc>
当日は総勢12名が集まりました。木曜日に開催する理由は北海道小樽から出てくる仲間がいて土日だと飛行機代が高いので週日に合わせて集まってくる方も集まる方ですね！これが、学生時代の仲間の良いところだと思います。



高専1期電気工学科有志の会
「駒田会」
2016.10.16 幹事 山下隆雄

毎年恒例の駒田会を10月16日に 池袋 だんまや水産とメトロポリタンで開催しました。また、遠路参加して下さった方もいて、電子、電気のメンバーは楽しくつろいで酒を飲み語り合いました。68～69歳の1期生は、来年は古希です。出席者は 依田勝先生、但馬剛会長(ファミリー会)、飯田一夫、道善邦雄、河村英和、石井卓、喜多島昇、堀野直一、水谷公一、小菅仁、稲葉涼哉、川田正博、阿久津善裕、山下隆雄 でした。次回、皆様のご参加をお待ちしています。(山下)



予告記事

2017.11.19ワンダーフォゲル部創部50周年記念
OBOG会幹事 藤谷宏

ワンダーフォゲル部は、1976年(昭和42年)4月に同好会から昇格し1期卒業と同時にOB会が作られ1998年11月に創部30周年記念行事を当時のヘンドリック校長をお招きし記念植樹・祝賀会を行いました。月日は早いもので、今年、創部50周年を迎えるまでになりました。部も存続し元顧問先生始めOB・OGの会員が170名余となりました。これ一重に学校長始め部顧問先生、職員の方々、部員ご父母の皆様のご理解とご協力によるものです。誠にありがとうございます。創部50周年を記念し下記の通り周年行事を開催したいと考えておりますのでOBOG及びOB顧問のご参加をお願いする次第です。

- ・期日2017年11月19日(日)11時～15時
- ・会場サレジオ高専（学生食堂を予定）
- ・記念植樹祭(樅の木)
- ・祝賀会(食堂2階)

2017.3.25新人歓迎↓



恩師訃報

2016.6-2017.3 会報編集部

昨年から今年前半まで恩師の訃報が続いた
若くして亡くなられた方もおられ
ここに紙上でご冥福をお祈りする次第である

+

- 櫻井常雄先生：2017年3月15日逝去 享年83歳
(元育英工高・高専英語教員・後にヘンドリックス校長秘書)
- ゴリス・リチャード先生：2017年1月31日逝去 享年85歳
(元育英中学高専・英語教員・蛇毒研究者)
- 佐竹正士先生：2017年1月16日逝去 享年92歳
(元育英工高・数学教員・バレーボール部顧問)
- 小田切治さん：2017年1月10日逝去 享年64歳
(元高専職員・育英中学22期卒)
- 松崎輝雄先生：2016年12月8日逝去 享年76歳
(元デザイン学科教員・工高10期木工科卒)
- 新海政造修道士：2016年6月17日逝去 享年80歳
(元育英学院実地課程・別府支部)
- 古木真理一神父：2016年6月8日逝去 享年66歳
(元高専職員・長崎教区派遣)



高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

学 校 広 報 室
星野 正登

【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070 - 2196 - 5135 】

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

